

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学皮膚科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年2月

福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 山本俊幸

■ 研究課題名

成人発症 Still 病の皮膚病変における NETs 形成についての検討

■ 研究期間

2026年2月～2027年1月

■ 研究の目的・意義

成人発症 Still 病（AOSD）における皮疹は発熱や関節症状とともに初発症状となることが多く、診断確定のための重要な要因となります。皮疹は以下の定形疹と非定形疹に分けられます。定形疹は比較的小型の浸潤を触れない淡い紅斑、大腿によくみられ、発熱に伴い、出現消褪します。非定形疹は浮腫性紅斑、線状紅斑、網状紅斑などがあり、解熱後も持続性であり、そう痒を伴い色素沈着を残します。また、非定形疹の一つに persistent pruritic papules and plaques（PPPP）があります。当科における以前の AOSD の集計では約 8 割の症例で非定形疹が見られ、非定形疹のうち約半数は PPPP でした。

Neutrophil extracellular traps（NETs）とは好中球細胞外トラップの略で、細菌などの病原体を捕獲するために、好中球が自ら DNA と殺菌タンパク質を網目状に放出する自然免疫の仕組みです。過剰な NETs は炎症や組織損傷を引き起こす可能性があります。AOSD でも NETs 形成が病態に関係していることがわかっています。これまで定形疹と PPPP を含む非定形疹における NETs 形成の違いについては検討されておらず、AOSD の皮疹における NETs の発現について検討することは病態解明を進めるため意義があることと考えます。

■ 研究対象となる方

2007年1月1日から2024年12月31日までに当院皮膚科を受診し、成人発症 Still 病と診断され、皮膚生検が行われた患者さんが対象です。また、研究過程で病理組織の比較を行うため、同期間に皮膚筋炎と診断され、皮膚生検が行われた患者さんも対象となります。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から、性別、年齢、皮膚の臨床所見について情報収集した上で、皮膚症状を定型疹と非定型疹（PPPP）に分け、NETsの発現について病理組織学的に検討します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年3月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学皮膚科学講座であり、研究責任者は皮膚科学講座 山本俊幸です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学皮膚科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当しません

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部皮膚学講座 担当：山本俊幸

電話：024-547-1309 FAX：024-547-1309

e-mail：dermatol@fmu.ac.jp